

## 上田市教育委員会 4月定例会会議録

### 1 日 時

平成 21 年 4 月 22 日 (水)

午後 3 時 30 分から 5 時 40 分まで

### 2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

### 3 出席者

#### 委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	生田千鶴子
委 員	春原 秀一
教 育 長	森 大和

#### 説 明 員

小市教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、原澤生涯学習課長、澤山人権同和教育政策幹、中部文化振興課長、細川体育課長、清水丸子地域教育事務所長、竹内社会教育課長、荒井真田地域教育事務所長、伊藤武石地域教育事務所長、手塚第一学校給食センター所長、西沢第二学校給食センター所長、金井丸子学校給食センター所長、浅野中央公民館長、渋沢西部公民館長、山寄城南公民館長、細川塩田公民館長、土屋上野が丘公民館長、綿内川西公民館長、坪田上田図書館長、大滝上田情報ライブラリー館長、掛川市民会館長、林博物館長

< 報告事項 >

1 平成21年度教育委員会重点事業計画について  
資料1により各課説明

西田委員長

これはホームページ等で公開されているか。

小野塚教育総務課長

所属毎の重点事業計画については公表していない。教育委員会の重点目標として公表している。

生田委員

子ども達にきめ細やかな対応をしていただき有難い。情報機器を活かして分かりやすい指導、また、不登校やいじめに対して教育相談所を中心に対応していることは良いことなので今後も続けてほしい。子ども達は大人のいる社会でしか生きられない。保護者が育児に対して十分な保育をしていない。先生方に発達障害に対する十分な理解がないため子ども達が先生とのコミュニケーションがうまく取れず、クラスの中で居辛いことが現場で起こっているのではないか。そうした子ども達が大人との関わりがうまく行くように地域の方や先生方に理解してもらうための勉強会・研究会のようなものを何回か持つことにより、子ども達が伸び伸びと学習・生活ができるようになるのではないか。

また、携帯電話がどう子ども達の危険に繋がっているか、大人の中でも十分に理解されていない人が沢山いる。したがって子ども達に適切な指導、助言ができない。結果的に大変な事に繋がる可能性があり、地域の方や先生方の十分な理解が必要である。

不登校・いじめの件であるが、南信の女性教育委員から学校の中で不登校の親の会を作ったところ、同じ事で悩んでいる親同士が話すことで気持ちが軽くなったという話を聞いた。親が精神的に楽になることで直接子ども達に良い影響を与え、不登校から登校へ繋がるということである。同じ親の立場で悩みを相談して情報交換することで不登校の子どもが登校できる流れになればいい。

西田委員長

そういう意味の親の会はあるか。

小野塚教育総務課長

上田市で不登校児童生徒支援ネットワーク事業を行なっている。そこで相談事業を委託しているNPO法人サポート上田には親の会があり、情報交換会を定期的に開いている。

春原委員

教育総務課のソフト事業「学校給食のあり方検討」の件であるが、同じような項目が

第一・第二給食センターにも掲げてあったが、自校給食や丸子給食センターはどのように関わってくるのか。市内全地域で連携すべき事業と考えるがどう考えているか。

小野塚教育総務課長

上田市の中では色々な給食の提供形態がある。個々に明示はしていないが意識としては全て含めてと考えている。

金子委員

教育総務課の「有識者会議提言に係る教育委員会としての検討」の備考欄で「教育委員会制度に関する課題」とあるが、その意味を教えてください。

学校教育課のところでは、学力調査、外国語活動の導入、学校給食、情報教育等全て新学習指導要領に基づくものだと思うので、総括の所に「新学習指導要領の理解とスムーズな移行」というのがあっていいのではないかと。これは意見である。

生涯学習課の「人権同和教育の基本方針の実践」のところでは「学校人権同和教育」・「社会人権同和教育」と出てくるがこれはどういうことか教えてください。

給食については、第一・第二学校給食センターと丸子・真田自校給食等も入れて、全市的にあり方を検討するのが良いと思う。第一学校給食センターの「米飯給食を増やす」は、現在月3回やっているところを2回増やすという理解でいいか。

手塚第一学校給食センター所長

そうである。

金子委員

中央公民館のソフト事業「3」の事業概要が太字なのは何か。

浅野中央公民館長

特に意味はない。

金子委員

西部公民館のソフト事業「2」の中で、青少年育成会が子ども達に農業体験を中心にやらせたいこと、また、今後地域の大人達が学習し行動することのできる懇談会になるようにしたいと説明されたがどういうことか。

上野が丘公民館のソフト事業の中に「成人・女性教育事業」とあるが女性に限っているのか。男性は入らないのか。

上田図書館の学校エコール導入の件であるが、まだ導入に至っていない学校はあるか。数多い質問になったが時間の許す限りで良いのでお答え願いたい。

小野塚教育総務課長

有識者会議の全体の窓口は教育総務課である。学校選択やバウチャー制度は学校教育

課が主に担当することになる。いくつかある項目の内、教育委員会制度については教育総務課の所管ということで記入したものである。

金子委員

その部分が特に教育総務課ということか。

小野塚学校教育課

そうである。学校教育分野については、学校教育課と一緒にやる。

渋沢西部公民館長

青少年育成の自治会懇談会は、本来大人を対象とした事業であるが、西部公民館では子どもを対象としたものも含まれていた。それを本来の形に戻したいというものである。

坪田上田図書館長

平成20年度に依田窪南部中学校を除く全ての小中学校でエコールが導入された。新しく導入された学校だけではなく、既に入っている学校も含めて全校の支援に努めたいという意味で記入した。

澤山人権同和教育政策幹

「学校人権同和教育」では、生徒を対象にした人権尊重等の学習、教職員・PTAを対象にした講演会等を行なっている。上田市の小中学校36校を中学校区ごとに10ブロックに分けて授業研究を実施している。

「社会人権同和教育」には自治会・公民館等地域の方を対象とした人権教育、企業を対象とした人権教育、また市民全体を対象とした人権啓蒙活動等がある。

金子委員

学校人権というよりも学校における人権教育という理解でよいか。

澤山人権同和教育政策幹

そうである。

土屋上野が丘公民館長

かつては成人・婦人教育という名称であり、婦人が女性に変わったということである。社会教育の参加者は女性の方が多いという実態はある。

金子委員

名称として残っているということか。学校教育課の学習指導要領についてはいかがか。

中村学校教育課長

「外国語活動の導入」や「食育」等ほぼ学習指導要領に沿った形である。表記はしていないが承知している。

金子委員

総括にあれば分かり易い。

生田委員

放課後児童クラブや学童保育は、保護者の就労の関係や健康上の問題で子ども達を見ることができないから願いますという制度と理解していいか。

中村学校教育課長

4月1日付けで統一した。児童館・児童センターは18才未満であれば誰でも使える。放課後児童クラブは登録制で親が病気、または働いていて子どもを見ることができない場合に有料で見えてくれるという制度である。

生田委員

スタッフの話では、放課後児童クラブで預ける理由を詳しく聞く訳にはいかないが、子どもの話から親が娯楽で出掛けるために預けるといっている人がいるようだ。“自分がいると親が遊べないから預けられている”と子どもが思ったら如何なものか。契約書に預ける理由をきちんと明記させ、理解してもらわないと子どもが傷付くことがある。

中村学校教育課長

本来は昼間両親が共働き・病気等で子どもを見られないための制度である。親が遊びに行くので見てもらうでは主旨が違う。今年からワーカーズ・コープが指定管理となっているが、その辺の申請については確認していると思う。そのような事例があれば繋いでいく。

## 2 教育委員会重点目標について（平成20年度報告、平成21年度目標）

資料2-1、2-2により中村学校教育課長、小野塚教育総務課長、中部文化振興課長、原澤生涯学習課長、細川体育課長説明

春原委員

20年度の優先順位1位の期末報告で、授業評価結果を授業改善につなげていくとなっているが、本年度に活かしていくためには検証が大事である。昨年の学力調査の結果に基づく授業評価は学校によって温度差がある。それをどう解消していくかが課題である。授業評価について次の3点について検証し本年度に活かしてほしい。

各学校は保護者や児童生徒にどんな内容のアンケートをしたか。

その結果どんなことが読み取れるか。

学校では授業改善にどう取り組んでいくのか。

いろんな温度差のある学校の校長先生方が共に学べるものがあればいい。これが21年度の具体的な取り組みになってくる。徹底した検証が2年目の大きな仕事である。

中村学校教育課長

学校評価の公表については学校によって違う。一定程度検証したものを保護者だよりや学校だより等で地域の方々にお知らせしている。さらにしっかりと検証を行い本年度の授業改善に活かせるよう検討していきたい。

金子委員

今年は中間報告、期末報告、21年度の目標も出してあり分かり易かった。時間がなかったからであると思うが「こういうわけ(中間・期末の経緯)で21年度の目標はこうだ。」と続けて言っていたのであれば一層ありがたかった。

### 3 シリーズ文化講演会実施報告について

資料3により中部文化振興課長説明

質疑意見 なし

### 4 企画展「松平家名品展」について

資料4により林博物館長説明

質疑意見 なし

### 5 行事共催等申請状況について

資料5により原澤生涯学習課長、中部文化振興課長、細川体育課長説明

質疑意見 なし

### 6 その他

なし

西田委員長

以上で4月の定例教育委員会を終了する。